

銀杏坂タイム

仙台市 子供相談支援センター

所長 大友 重明

仙台市青葉区錦町 1-3-9

TEL 022-214-8602 (相談支援係)

022-214-8848 (青少年指導係)

第 136 号 令和 3 年 7 月 1 日

新年度から 3 か月過ぎました

令和 3 年度も 3 か月が経過しました。この時期、小学校では運動会、中学校では中総体などが実施され、昨年度はコロナの影響で中止せざるを得なかった行事等を含め、学校生活の様々な場面で工夫を凝らしながら今年度は実施されているようです。また、コロナ禍での子育てに苦勞している御家庭からの相談が寄せられて久しくなりますが、こちらの方も頑張っており取り組んでいる話をうかがうたびに、当センターの役割の重さを痛感しているところです。さて、当センターでは電話・メール・面接などを通じて相談を受け付けておりますが、この 3 か月の主な相談内容は下記のようになっています。

<ヤングテレホン相談関係>

- ◇育児・しつけを中心に「家庭」の相談が多い。
- ◇5月頃から「学校生活」の相談が増加し、特に不登校に関する相談が徐々に増えている。
- ◇「精神不安」の相談も多く、水面下にコロナの影響が少なからずあると推察される。
- ◇夕方から深夜の時間帯の相談では、「対人関係」の相談が特に高校生を中心に増加している。

<子育て何でも相談関係>

- ◇3月後半からの仙台市内でコロナ感染増加に合わせて、コロナに関わる相談が増加した。
- ◇4月は、乳幼児の母親からの授乳・栄養・子育て不安についての相談が多かった。
- ◇5月のゴールデンウィーク明けから小学生の母親からの相談が増えた。特に1年生が多く、登校しぶりを心配しているようだった。

□カードを配っていましたので活用してください！！

青少年のためのお悩み電話相談
ヤングテレホン相談 《24時間・365日受付》
 小学校高学年から若ね20歳の方とその保護者の方が対象です。
0120-788-017
 ナヤミゼロ イーナ
 学校生活、友だち、いじめ、不登校、道徳、性、身体、不安なこと、悩みごとなどの相談を受け付けます。
メール相談
 ○仙台市 子どもメール相談 で検索
 仙台市子供相談支援センター

★おれおれ広場★
 学校に行けない… 学校に行っても不安がない…
 日中の安定した居場所が欲しい…
 そんな子どもたちのための居場所です。
 ○自分に合った仕事を探すための
 お手伝いもしています。
おれ広ばよりははこちら→
022-214-8602
 仙台市子供相談支援センター
 仙台市青葉区錦町一丁目3番9号
 仙台市役所錦町庁舎2階

子育て何でも相談
 ニジイロ イイコニ
216-1152
 仙台市役所6階
 (月～金/午前8時30分～午後5時)
 (土曜・日曜・祭日・年末年始は休室)
 子どもメール相談
 ○仙台市 子どもメール相談 で検索または

子育て何でも
 電話相談
 授乳、離乳食、身体の発育、
 子どもの性格、しつけ、いじ
 め、不登校、友人関係等安心
 の子育て、さらに一歩進め
 て子育てを楽しめる環境
 づくりを考えていくため
 に、身近に相談できる窓口
 として、仙台市は「子育て
 何でも電話相談」を開設し
 ています。
 ◎相談内容については、厳密にします。
 所在地 仙台市青葉区錦町一丁目3番9号
 仙台市役所6階
 電話 022-214-8602
 仙台市子供相談支援センター

*フリーダイヤルになり、掛けやすくなりました。

*24時間365日対応できます。

*子育てに関する身近な問題の窓口です。

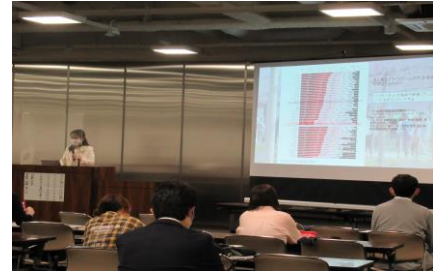
*各機関を紹介したり面談に応じたりしています。

思春期セミナー多くの学びがありました

□一日目 加納寛子先生

◎全世界的な視点に立って、情報機器の利用に関する内容を伝えていただきました。スマホやネットの効果的な利用と、親子でルールを作り上げる必要性に関する話でした。

- ・大人も経験したことがない問題に立ち向かわないといけない。
- ・大人や親が手本になること以外で、よい対応ができないものだろうかと考えた。
- ・「ゲーム=悪」ではない。ルールやチェックリストや「納得させる活動」が大切だと思う。



□二日目 佐藤 静先生

◎仙台市の不登校の児童生徒数に関する経年変化とスクールカウンセラー配置などの取組に関する話をさせていただきました。適応のための2つの基盤を形成していくため、悩みを抱える相談者の「心の土台」を維持獲得していくための「寄り添いサポート」の重要性を教えていただきました。トピックで出た「関係を壊しやすい言葉」も大変参考になりました。

- ・とても分かりやすく落ち着いて聞くことができ、本当に勉強になった。
- ・「心の土台」という言葉を知った。傾聴の際の注意点も聞けた。出席してよかった。
- ・寄り添いと指導の使い分けやバランスの大切さが学べた。



□三日目 杉山雅宏先生

◎雑談や短い時間の会話が積み重なって信頼感が深まっていくこと、相談者から学ばせてもらうという姿勢でカウンセリングに臨むことの大切さを学びました。「今のままでいいよ」「これからよくなるよ」「あなたならできるよ」という気持ちで接するよう心掛けて取り組むとよいとのことでした。セミナーの最中は笑顔になれるような話題もあり、先生からたくさんの元気をいただいた講座でした。

- ・普段の業務の中でも子供から学ばせてもらうという視点を持つようになった。
- ・「電話を掛けてきてくれてありがとう」という気持ちで励みたい。
- ・母親が元気になると解決する問題もあるので、思いを受け止めたい。

(◎→主な内容 ・→参加者の感想)

3日間で延べ90名を越える参加者を迎えることができました。「思春期の子どもの理解」のタイトルにふさわしく、3名の講師の先生から我々の日々の業務に役立つ、励まされる内容の講話をいただきました。10月には、文教大学の布柴先生、高橋メンタルクリニックの菱沼先生、宮城教育大学の植木田先生をお呼びして、セミナーを開催する予定ですので、ぜひお越しください。

